

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人武蔵野市開発公社						
①	指標名	イースト吉祥寺まちづくり活性化事業			目標値	地区の協議会活動が充実できるように支援を強化する	実績値	協議会活動は昨年と比較して充実した
	過去の実績 (単位: )	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①東部地区街づくり協議会から地域の土地売買情報を収集し、市に報告した。 ②東部地区街づくり協議会は、視察研修、タウンウォッチング等事業内容を充実できた。 ③ベルロード維持管理協議会、みその通り管理協議会の運営を支援した。 ④共同ビル事業推進のための、関係法令の説明、モデル案の提示等を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 1. ハード面 ①土地売買の情報等、公有地拡大の支援について1件の実績を作った。 2. ソフト面 ①地区の各種市民団体等の連絡調整及び円滑な運営のための支援・助言等についても、目立たないながらも、一定の成果を達成した。吉祥寺東部地区街づくり協議会でも、前年度と比較して、確実に活動の幅が広がった。 ②共同ビル事業推進のための誘導・助言等についても、着実に進捗している。						
二次評価	●吉祥寺東部地区を活性化するため、吉祥寺東部街づくり協議会、ベルロード維持管理協議会、みその通り維持管理協議会の事務局を担当し、各協議会の意見をまとめながら、市及び地域との連絡調整に努めた。 ●目標値が数値化されていないため達成度の評価が難しいが、吉祥寺東部街づくり協議会において、タウンウォッチングや視察研修などの新規事業に取り組んだことから、前年度と比較して協議会活動が充実したと評価する。 ●今後も、市吉祥寺まちづくり事務所などと連携し、吉祥寺東部街づくり協議会を支援し、吉祥寺シアターがオープンしたこの地区の活性化に貢献していくことが必要である。							
①	指標名	ハモニカ横丁リメイク懇談会の開催			目標値	8回	実績値	7回
	過去の実績 (単位: )	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①7月に委員会を立ち上げ、月1回のペースで会議を開催した。 ②会議ではハモニカ横丁に、望まれる機能とは何か、店舗・業態・経営から見た将来像は、防災や景観の視点から等、多くの論点を整理した。 ③平成17年11月に関係者等を集め、検討報告会を開催する予定であり、そこでこの懇談会の最終的な結果を出す予定である。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○委員の日程調整の関係で開催しなかった月があるが、内容的には予定通り進捗したものと評価できる。						
二次評価	●ハモニカ横丁の再開発については、同地域のあるべき姿を多面的、多角的に検討するため「ハモニカ横丁リメイク懇談会(外部委員6名)」を設置され、17年秋には地元関係者に検討結果を報告する予定である。 ●一次評価にあるように、日程の関係で目標値には1回及ばなかったものの進捗状況は良好であり、達成したと評価する。 ●ハモニカ横丁は、吉祥寺北口駅前という立地条件に恵まれてはいるが、防災上問題があり現状維持で済ますことはできない。権利関係が複雑で、関係者のコンセンサスをまとめるのは難しい面もあるが、吉祥寺北口駅前共同ビル建設促進協議会の事務局として、市や地元との地道な意見交換や連絡調整が今後も望まれる。							
②	指標名	事業基盤の安定と財政力の充実(事業収入)			目標値	1,378,281千円	実績値	1,238,170千円
	過去の実績 (単位:千円)	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	89.8%	達成状況	未実施・ <b>未達成</b> ・達成
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①㈱エフエフショッピングセンターから資産及び業務を的確に引き継ぎ、併せて継承した負債の削減を計画的に行った。 ②FFビルの耐震改修・リニューアル工事に合わせて、A棟ビルの業種、業態のリモデルを行うことで、ビルの活性化を図り、賃料収入の回復を目指すため、関係者との交渉を行った。 ③固定資産の減価償却を再開し経理の改善を図った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値は不動産賃貸収入の予算額であるが、実績値が目標値に到達しなかった要因は、㈱エフエフショッピングセンターの資産を継承した時期が4月から7月になったことによる影響が主なものである。 ○リモデルの完成予定である平成18年10月に向けて関係者と交渉を重ね、着実に進展している。 ○減価償却を再開し、自己資本を実際の価額に近づけるよう、修正した。平成16年度の償却額は19億8000万円。						
二次評価	●一次評価にあるように、㈱エフエフショッピングセンターの資産継承時期のズレから目標値を達成できなかった。 ●事業収入は、不動産賃貸収入である。その大部分を占めるFFビルの耐震補強・外装リニューアル工事とA棟の店舗リモデル事業は、平成16年5月に着工し18年10月の竣工を目指している。 ●今後は伊勢丹との賃料交渉や優良テナントの確保で事業収入増を目指すとともに、スイングビル内の東京法務局武蔵野出張所廃止に備え、速やかに対応する必要がある。							

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

③ 人 事 組 織	指 標 名	執行体制の効率化、職員研修の充実			目 標 値	○職員の通信教育講座の実施 2名 ○武蔵野市等への派遣研修の開始 2名	実 績 値	○職員の通信教育講座の実施 3名 ○武蔵野市等への派遣研修の開始 2名
	過 去 の 実 績  (単位:名)	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達 成 率	125.0%	達 成 状 況	未実施・未達成・達成
	取 組 内 容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①武蔵野市への研修生として1名を6カ月間派遣した。 ②武蔵野交流センターの「おまめやさん」で約5カ月間派遣研修として、販売業務を行った。 ③市が職員研修としてプログラムしている「通信教育コース」から、宅建資格取得コース、民法等不動産関連を中心に受講させた。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値以上に達成できた。 ○通信教育の成果は今後発揮されるものと期待できる。						
	二 次 評 価	●職員の資質向上のための、通信教育の受講と派遣研修の実績が目標を上回った。 ●社会経済状況の変化の激しい昨今では、職員は時代に敏感に感じ取り、新たな施策やサービスなどにつなげるセンスが要求される。こうした能力は一朝一夕に身につくものではなく、系統的な人材育成が必要である。 ●今後も派遣研修や通信教育などを活用し、特定の分野にとらわれない知識、視野をもった職員の育成を積極的に進めていくべきである。 ●また、職員給料表の都表準拠への改定や職員定数の見直しなどの検討も進める必要がある。						